2021 年度 全国科学館連携協議会 東海ブロック研修会 報告書

２０２２年2月２５日

名古屋市科学館
学芸課学芸係　学芸員　山田　厚輔

以下のように研修会を開催しましたので報告します。

記

１　日時　　２０２２年1月２１日（金）

２　会場　　オンライン（名古屋市科学館）

３　テーマ　　あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室バーチャル内覧会

４　プログラム　　資料（１）参照

５　参加者　　資料（２）参照

６　研修会内容

（１）研修会内容に関するアンケートの実施

新型コロナウイルス感染症による各施設の影響も考慮するため、本年度研修会を企画するにあたり事前に加盟施設へ研修会の内容や形態に関するアンケートを行った。内容については、2019 年度に行ったイベント形式と従来から行っている会議形式が半々となった。形態については、対面・オンライン併用が半数、対面、オンラインがともに 1/4 ずつであった。以上の結果から、8 月上旬までは対面・オンライン併用によるイベント形式を企画していたが、8 月中旬からの感染拡大を受け、内容及び形態を変更し実施した。

（２）あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室について

研修のテーマである「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念」を紹介する。同展示室は、2021 年 3 月に名古屋市科学館生命館地下２階にオープンした新しい展示室である。名古屋市と愛知県による共同事業であり、設計製作費用および運営費用を両者で出資している。愛知県と名古屋市にゆかりのあるノーベル賞受賞者８名６テーマについて、受賞者の研究や人柄を紹介する展示や、研究内容や基礎科学を学べる体験展示を展示している。

（３）ノーベル記念室概要（発表者：名古屋市科学館 学芸課長 鈴木雅夫）

同展示室の概要について、発表者より説明を行った。一般的な内容に含め、連携協の研修会らしく経緯や設計、運営など踏み込んだ概要まで説明した。踏み込んだ内容なだけあって活発な質疑応答があり、参加施設にとって有意義な意見交換ができたと考える。

（４）ノーベル記念室バーチャル内覧会（発表者：名古屋市科学館 主任学芸員 山田吉孝、小塩哲朗　学芸員 柏木晴香、山田厚輔）

同展示室より担当学芸員による解説付き内覧会を行った。筆者がスマートフォンを装着したスタビライザーを持ち、担当学芸員や展示品を写して配信した。

展示の紹介はもちろん、設計段階でこだわった点など作り手だからこそ伝えられる話を織り交ぜた。例えば、野依博士の展示では、実際に野依博士にインタビューした際、研究や教育にかける熱い想いを強く感じ、その想いが見学者にどうすれば伝わるか検討して展示を作り上げた。他にもノーベル賞受賞研究はいずれも難しく、体験展示にするのは容易ではないため、どの部分を切り取って展示化したか、なども合わせて紹介した。

（５）参加施設報告

事前に新規展示や事業について報告事案を募り発表を行った。特に浜松科学館が報告した「夜の科学館」は、質疑も活発に行われ有意義な意見交換が行われた。

７　アンケート

研修会終了後にアンケートを行った。形態では、圧倒的に対面、対面・オンライン併用が多く、従前の研修会の復活が望まれていることがわかる。内容に関しても、従前の展示や実演、展覧会などの情報交換の要望が多かった。まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、以前と同じような状態に戻るには時間がかかりそうではあるが、より充実した研修会を今後も企画実施して行きたい。

８　動画限定公開

研修会の様子を名古屋市科学館公式 YouTube チャンネルにて連携協加盟施設にのみ限定公開している。閲覧を希望する加盟施設は、筆者まで連絡をお願いします。

以上